



2027年3月期 第1四半期決算短信（日本基準）（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社 南陽

上場取引所 東 福

コード番号 7417 URL <https://www.nanyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 篠崎 学

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 井上 毅

TEL 092-472-7331

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	8,947	5.8	747	4.7	843	10.6	669	36.9
2026年3月期第1四半期	8,454	△1.8	713	13.4	762	1.6	488	0.5

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,249百万円 (114.7%) 2026年3月期第1四半期 581百万円 (△8.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	55.07	—
2026年3月期第1四半期	39.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	41,914	27,853	66.5
2026年3月期	42,137	27,492	65.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 27,853百万円 2026年3月期 27,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	58.00	68.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		10.00	—	55.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年 3月期の連結業績予想（2026年 4月 1日～2027年 3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	6.4	1,200	△1.2	1,250	△3.6	900	10.4	73.49
通期	40,000	8.6	3,000	6.8	3,200	4.9	2,250	△4.5	183.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)				
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	13,230,140 株	2026年3月期	13,230,140 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,105,794 株	2026年3月期	983,794 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	12,154,746 株	2026年3月期1Q	12,478,564 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に個人消費が底堅さを維持するとともに、設備投資や生産活動に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、地政学的リスクの高まり、原材料価格やエネルギー価格の変動、物価高の長期化による消費マインドへの影響や人手不足の深刻化等が重荷となり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループの連結業績につきましては、概ね計画通りに推移し、売上高は8,947百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は747百万円（前年同期比4.7%増）、経常利益は843百万円（前年同期比10.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は669百万円（前年同期比36.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設機械事業

建設機械事業におきましては、公共工事及び民間工事需要に回復の兆しが見られたものの、継続して商品価格の高止まりによる購買意欲の低迷や建設機械のオペレーター不足の影響が懸念される等、不安定な状況が続く中、販売部門においては、インフラの補修に関連する商品等の高粗利商品の販売強化に努めました。また、レンタル部門においては、公共工事、民間工事需要の取り込みに注力したほか、レンタル用機械の更新に伴う売却を実施した結果、売上高は3,561百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は627百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

② 産業機器事業

産業機器事業におきましては、半導体市場及びロボット市場で増産に向けた動きが見られる等、回復傾向に転じた一方、地政学的リスクの高まりや資源価格高騰の影響が引き続き懸念される等、不安定な状況が続く中、高度化や省力化に向けた商品の提案強化や生産部品・消耗部品の拡販に努めた結果、売上高は5,258百万円（前年同期比3.3%増）となりました。その一方で、セグメント利益につきましては、販売費及び一般管理費が増加したことにより、329百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

③ 碎石事業

碎石事業におきましては、事業を展開している地域において、公共工事及び民間工事需要が回復傾向にある一方で、物価や資源価格高騰による影響が継続する等、不安定な状況が続く中、営業活動を強化し、護岸工事や造成工事等の公共工事並びに大口の民間工事需要の取り込みに注力いたしました。また、販売単価の交渉にも努めた結果、売上高は127百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は13百万円（前年同期比125.1%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産は、前連結会計年度に比べ222百万円減少（0.5%減）し、41,914百万円となりました。増減の主な内容は、現金及び預金が1,012百万円、投資有価証券が771百万円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が2,265百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ583百万円減少（4.0%減）し、14,061百万円となりました。増減の主な内容は、支払手形及び買掛金が617百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ360百万円増加（1.3%増）し、27,853百万円となりました。増減の主な内容は、その他有価証券評価差額金が537百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.5%と前連結会計年度に比べ1.3ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は、概ね計画どおりに推移しており、業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,778	11,790
受取手形及び売掛金	8,912	6,646
電子記録債権	2,016	1,663
商品及び製品	2,023	2,376
仕掛品	386	511
原材料及び貯蔵品	32	42
その他	1,011	1,208
貸倒引当金	△263	△284
流動資産合計	24,899	23,955
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	8,719	8,455
その他（純額）	3,700	4,026
有形固定資産合計	12,420	12,482
無形固定資産		
のれん	165	143
その他	223	207
無形固定資産合計	389	350
投資その他の資産		
投資有価証券	3,813	4,584
その他	639	565
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	4,429	5,126
固定資産合計	17,238	17,959
資産合計	42,137	41,914

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,125	4,507
電子記録債務	4,109	4,089
短期借入金	950	950
リース債務	830	775
未払法人税等	783	571
賞与引当金	458	225
役員賞与引当金	94	18
その他	866	1,213
流動負債合計	13,217	12,352
固定負債		
その他の引当金	388	390
退職給付に係る負債	417	407
その他	621	911
固定負債合計	1,426	1,708
負債合計	14,644	14,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,181	1,181
資本剰余金	1,042	1,042
利益剰余金	23,905	23,864
自己株式	△910	△1,088
株主資本合計	25,219	25,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,660	2,198
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	610	653
その他の包括利益累計額合計	2,273	2,853
純資産合計	27,492	27,853
負債純資産合計	42,137	41,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	8,454	8,947
売上原価	6,542	6,889
売上総利益	1,912	2,057
販売費及び一般管理費	1,198	1,310
営業利益	713	747
営業外収益		
受取利息	16	14
受取配当金	25	33
持分法による投資利益	18	12
為替差益	—	21
その他	17	25
営業外収益合計	77	107
営業外費用		
支払利息	6	8
為替差損	20	—
自己株式取得費用	—	1
その他	1	1
営業外費用合計	28	11
経常利益	762	843
特別利益		
投資有価証券売却益	—	217
特別利益合計	—	217
税金等調整前四半期純利益	762	1,060
法人税、住民税及び事業税	149	274
法人税等調整額	124	117
法人税等合計	273	391
四半期純利益	488	669
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	488	669

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	488	669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166	534
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△58	41
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	4
その他の包括利益合計	92	579
四半期包括利益	581	1,249
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	581	1,249
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,242	5,091	120	8,454	—	8,454
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	5	—	10	△10	—
計	3,248	5,096	120	8,465	△10	8,454
セグメント利益	521	395	5	922	△208	713

(注) 1 セグメント利益の調整額△208百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,561	5,258	127	8,947	—	8,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	35	—	40	△40	—
計	3,566	5,293	127	8,987	△40	8,947
セグメント利益	627	329	13	970	△222	747

(注) 1 セグメント利益の調整額△222百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	538百万円	549百万円
のれんの償却額	21百万円	21百万円